

洛西だより



竹の子

「自立・貢献・夢さがし」～誇りをもって、自らの未来を切り拓く、たくましい生徒を育てる～

令和4年11月 1日発行
京都市立洛西中学校
文責：校長 小林 鉄男
第8号



学校祭体育の部 全校で全力を發揮！

10月4日（火）午前中に、秋の青空の元で学校祭体育の部が開催され、今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、種目数など規模を縮小しましたが、久しぶりに全校生徒が揃って全校で開催しました。文化委員のアナウンスで選手入場後に開会式が行われ、開会宣言・生徒会旗掲揚・選手宣誓・準備運動などを、生徒会本部役員と体育委員長がそれぞれの役割を果たし、気持ちのこもった式の進行を行いました。100m走では、1・2・3年生の女子から始まり、次に1・2・3年生の男子の競走へと続き、一人一人が一生懸命に走りきる全力疾走の姿に力強さを感じました。100m走に続いてハードル走では、100m走と同じ順で競技が行われ、これまで体育の授業で培ったハーデリングフォームで、次々とハードルを飛び越していく、積極果敢にハードルに向かおうとする姿勢は、練習してきた成果を發揮し、挑戦する気持ちが前面に出していました。

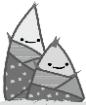
1年生の学年競技「横綱引き」では、各クラスで作戦を立て、横一線の大綱をどのように攻略するか？を工夫していました。一本の綱を巡ってチームワークを発揮しながら、力と力の激しいぶつかり合いとなりました。対戦クラスによっては一進一退の勝負が続き、最後まで諦めない「粘り」と「根性」が勝負のカギでした。

2年生の学年競技「台風の目」では、クラスごとに一本の竹をバトン代わりにして、「走る⇒クラス全員で跳ぶ⇒クラス全員でかわす」を次々と行って、竹を受け渡していきます。ターンをするときには、竹を離さないように気をつけながら、激しく競り合う勝負となりました。順番を待つ仲間の声援を背に受けて手に汗握る展開となりました。

3年生の学年競技「大縄跳び」では、クラスごとに練習タイムで跳ぶタイミングと大縄を回すリズムを確認し合い調整した後、記録タイムで挑戦しました。「どうすれば跳び続けることができるのか？」を打ち合わせて工夫し、クラス全員が心を一つにして、同じタイミングで跳ぶことに全集中できました。大縄に引っかかるしないドキドキ感と、回数が増えていく喜びが合わさり、高揚感にあふれていきました。応援席から1・2年生の「いち！にい！さん！」の声援を受けて、3年生と応援する1・2年生が一体となり盛り上がりました。

最後の競技「学年別学級対抗リレー」では、各クラス2チームが出場し、先行逃げ切りや後半追い上げなどの熱い競走が繰り広げられました。抜きつ抜かれつの展開に、応援にも熱が入り、各色の応援席から大きな拍手と声援が送られました。閉会式では成績発表、表彰、生徒代表の挨拶の後、体育委員長が締めくくりの話を行い、全校生徒の力で成功できることと、支えてもらった方々への感謝の気持ちを伝えました。最後まで笑顔で参加できることを分かち合いました。





学校祭文化の部 感動の合唱コンクール！

10月7日（金）に、学校祭文化の部を実施し、新型コロナウイルス感染対策を行いながら、昨年度は行えなかった合唱コンクールを学年別に開催しました。各学年ともに文化委員が開会のあいさつを行い学年全体で声出しを行って、合唱コンクールに本番に臨みました。

1年生の部の1番目は1年3・5組で「Song is my Soul」を、2番目は1年1・5組で「旅立ちの時～Asian Dream Song～」を、3番目は1年2・5組で「My Own Road -僕が創る明日-」を歌いました。中学校で初めての合唱コンクールで、とても緊張したと思いますが、どのクラスも一生懸命さが伝わってくる合唱でした。歌う態度や鑑賞する態度はとても良く、お互いの歌声に熱心に聞き入っていました。懸命に取り組んだ経験を、今後に活かしてほしいと思います。

2年の部の1番目は2年3組で「あなたへ～旅立ちに寄せるメッセージ～」を、2番目は2年1・5組で「時の旅人」を、3番目は2年2組で「地球星歌～笑顔のために～」を歌いました。練習の成果を発揮して、男女ともに各パートの音程をとって歌うことができました。中堅学年として、どのクラスも強弱をつけ、力強く美しいハーモニーを響かせていました。

3年の部の1番目は3年3組で「糸」を、2番目は3年2組で「友～旅立ちの時～」を、3番目は3年1・5組で「手紙～拝啓 十五の君へ～」を歌いました。中学校生活最後の合唱コンクールで、とても気持ちのこもった歌声が響き渡りました。女子の伸びのある高音と、男子の力強い低音が一体となって、曲想を表現することができました。一人一人の思いが、歌に込められていました。

全校の皆さん、今回の合唱コンクールの取組を通して、仲間とのハーモニーに美しさを感じ、クラスが一体となった瞬間を、たくさん体験できたのではないでしょうか。クラスの仲間と一緒に取り組んだからこそ経験できたことは、これから成長の糧に、きっとなることだと思います。



学校祭文化の部 工夫を重ねた総合学習・教科の発表！

合唱コンクールの同日に総合学習と教科の発表が行われ、展示鑑賞では他学年と重なり密にならないように学年ごとに時間を設定し、各展示会場を見て回りました。一人一人がクリップボードにキャリアパスポートを挟んで、鑑賞して感じたことや考えたことなどを、ワークシートに記入して記録に残していました。全学年の国語科の展示会場では、「表現を楽しむ」作品が展示されており、日常生活の中で心を動かされたことや発見したことなどの表現や、「創作短歌」などそれぞれの作品の中に思いが込めて伝えることができました。1・2年生の社会科の展示会場では、1年生「世界の国調べ」と2年生「都道府県調べ」作品が展示されており、1年生は全国の都道府県について調べ、2年生は世界の国々について調べ、それぞれの地理や産業などの特徴がまとめられていました。英語科の展示会場では、1年生が取り組んだ「All about me」のポスターが、2年生が取り組んだ「映画紹介」のポスターが、3年生が取り組んだ「俳句」が展示され、それぞれの作品は英語で工夫をした表現がされていました。美術の展示会場では、全学年が授業で取り組んだ作品と共同作品が展示されていました。風景画や抽象画や版画など、どれもこれも力作で見ごたえのある作品ばかりで、それぞれの作品を作成した心情や解説などもまとめられていて、思いがよく伝わってきました。



1年生の総合学習の取組では、「全ての人が幸せに生きられる」をテーマに、LGBTQについて学習したことや、障がいのある人も一緒に過ごせる街について考えたり調べたりしたことがまとめられていきました。デジタル壁画やデジタルマップには、「福祉の街 洛西」について、地域の中にどのような生活の工夫があるのかを表現することができました。取組を通して、優しさあふれる洛西の街を再認識することができました。

2年生が総合学習の時間に取り組んできた「東日本大震災」について、南校舎2Fのモニターで学習成果をビデオで発表しました。取り組んできた経過の説明や、取組後の感想などが放映されていました。南校舎と北校舎の階段には、クラス別に「階段アート」が展示され、それぞれの作品は、鮮やかな色彩やグラデーションを工夫して彩色されていました。作品づくりを通して、震災に対する理解を深め、被災された方々の思いを受け止めて、自分たちができるることを考えました。

3年生の展示会場では、総合学習で取り組んだ「平和な世界のために」というテーマで、世界で起こっている様々な問題を取り上げて、問題の現状や解決内容がまとめられていました。修学旅行で広島に行き、平和について学んだことから世界平和に広げ、世界の様々な問題の中から、教育・貧困・紛争・環境・食糧に注目して、それぞれの問題が抱える内容をグループごとに学年発表会で発表したビデオが配信されました。グループで協力し合いながら調べたことを丁寧に伝える姿が印象的でした。それぞれの学年で取り組んだ学びを通して、新たな視点でこれから歩みに生かし、応用していくことを期待しています。

今回の学校祭は、スローガンである「百花繚乱」のように一人一人が咲きほこり、とてもよい学校祭になりました。互いの頑張りを認め合い、皆さんの力で盛り上げることができました。皆さんのが心を一つにして、ますます活躍していくことを、これからも大いに期待しています。



1年生 伝統文化体験 華道学習を実施！

10月28日（金）に、草月流の先生とお二人のアシスタントの方々に講師として来ていただき、華道についてクラスごとに体験授業をご指導くださいました。学習の目的は、伝統文化の「いけばな」についてほんものを体験し、伝統文化の良さを知り、草木の生命の大切さを感じ、「いけばな」の楽しさを通じて豊かな感性を磨くことです。華道の歴史について学んだ後、講師の先生の指示で花材を切って、一本一本心を込めて剣山にさしていきました。花を剣山に刺す場所や角度などもアドバイスしていただきながら、自分らしく花をいけました。初めていけばなを体験するのにもかかわらず、立派な作品が仕上がりました。でき上ったいけばなは、順番に写真を撮って記録に残し、成果を実感することができました。最後にお世話なった草月流の先生方に、代表生徒が感謝の気持ちを伝えて、華道体験を終了しました。日本の伝統文化を知ることができた本当に有意義な時間になりました。



